

【金沢区】平成 28 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 28 年 9 月 7 日（水）午前 10 時 00 分～11 時 20 分
場 所	金沢区役所 5 階 1 号会議室
出席者	<p>【座 長】 黒川 勝 議員</p> <p>【議 員：4 名】 高橋 徳美 議員、竹野内 猛 議員、 谷田部 孝一 議員、小幡 正雄 議員</p> <p>【金沢区：33 名】 國原 章弘 区長、齊藤 勝敏 副区長、 秋元 政博 福祉保健センター長、 新井 勉 福祉保健センター担当部長、 島 悟司 金沢土木事務所長、 小出 健 金沢消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 27 年度 個性ある区づくり推進費 決算状況について</p> <p>2 平成 28 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について</p> <p>3 平成 29 年度 金沢区予算編成の考え方</p>
発 言 の 要 旨	<p>【議題 1】平成 27 年度 個性ある区づくり推進費 決算状況について</p> <p>【議題 2】平成 28 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況について</p> <p>竹野内議員：「Let's エコアクション応援事業」で実施しているエネルギーモニタリングについて、成果と状況について聞きたい。また、現在 4 施設だがこのあと増やしていく予定があるのか。</p> <p>伊倉区政推進課長：27 年度は 5 施設だったが、28 年度は総合庁舎が建替となったため 4 施設となっている。「見える化」と使用料の関係を見ることが環境負荷を継続して削減していこうという取組である。実際の電力使用量の「見える化」に取り組んでいくことが重要であると思う。</p> <p>仕組みの関係もあるので、施設数の増加については今後の課題。</p> <p>竹野内議員：「3 R 夢プラン」の不法投棄監視システムの運用について詳しく聞きたい。</p>

発言の
要旨

吉房資源化推進担当係長：監視システムは不法投棄がされやすい場所に設置し、付近に人が立ち入ったときに、照明が付き、音声で警告を発するものである。

竹野内議員：監視システムは、警告だけで、録画したり、自動的に通報したりできるシステムではないのか。

吉房資源化推進担当係長：防犯カメラには、録画機能はない。各地区で不法投棄されたものは、資源循環局や土木事務所等、関係部署と連携して対応する。

竹野内議員：「観光振興事業」に関して、金沢区の観光に関することで、観光協会の方から区への要望等はあるか。また、区から市へ、観光の観点で要望することはあるのか。

國原区長：単独の観光協会がある区は珍しく、花火大会も含め歴史がある中で、観光協会のありかたは考えている。観光協会とは日頃からコミュニケーションをとり、どちらかが主導ということはなく、互いに議論しながら事業を進めている。

金沢ブランドのPRや販売について昨年のワンデイウオーキングの際は、ゴール地点の中央水産研究所のご協力により販売することができた。また、歴史プロモーション事業でも、横浜金沢シティガイド協会と観光協会と区の3者でタイアップしての事業を実施しており、これをさらに広げていくことが重要と考えている。

竹野内議員：「保育所を活用した子育て支援事業」の「次世代育成ボランティア事業」は、いつから実施しているのか。参加者の声はどうか。これを通じて保育士に就業するなどの実績はあるのか。

西田学校連携・こども担当課長：保育園に、中学生、高校生、大学生のボランティアを入れて、実際に体験してもらっている。自身が親になる前にこどもに触れるチャンスができることで、虐待防止にもつながる。参加者からはいい体験ができたとの感想があり、学校からも継続要望がある。次年度以降も地道に続けていきたい。

発言の
要旨

竹野内議員：「児童虐待・DV 予防事業」で、「リスクの高い養育者をサポートする」とあるが、どのように養育者を把握するのか。

内田こども家庭支援課長：1年6か月健診等の場で、子どもの状況などを見ながらの気づきや、地域や保育園等からの情報などいろいろなパターンがある。

竹野内議員：「多文化共生事業」で、「ボランティアによる子どものための日本語学習教室」に延べ421人が参加したとのことだが、地元の小、中学校に通いながら参加しているのか。一度視察してみたい。

中村地域力推進担当課長：参加者は、地元の小中学校に通いながら教室に通い、日本語を学んでいる。

竹野内議員：「災害時要援護者避難支援事業」は、非常に大事な取組ではあるが、実際の災害時に生かされることが大事。要援護者は地域の防災訓練にはなかなか参加することができないと聞いている。その方々を対象にした訓練を具体的に実施できることが大事であるが、どのようにやっているか。

塩田高齢障害支援課長：「障害者理解促進事業」において、地域防災拠点の運営委員会等で、区と施設、障害者の家族などのボランティアが、実際の避難時の対応などについて、理解・啓発活動を進めている。

竹野内議員：「金沢臨海部産業活性化推進事業」の活性化プランについては、金沢区の活性化につながるプランとしてほしい。（要望）

「かなざわ八携協定の推進」で、大学、URとの連携で実施する「京急×市大×金沢区 空き家活用プロジェクト」について詳しく聞きたい。

伊倉区政推進課長：市大の学生には、空き家になっている谷津の古いアパートの活用について、授業の中で地域の活性化につながるような具体的な提案をしてもらった。その中で、京急グループと市大の研究室と区が連携して、先日発表会を行い、その中から、外国人留学生と日本人学生との交流場所とする案件が京急に評価され、これを軸に京急が実現化をめざし、

来年度入居に向けて検討中。

國原区長：この事業は、現場を回り、空き家をピックアップすることから始めた。今後金沢区は単身高齢者が増えてくることを考え、戸建ての空き家対策へのひとつのアプローチとして実施した。京急としても、高齢化に伴い、今後は運賃収入だけに頼ることなく、空き家対策や自らが分譲した住宅のリノベーションなど積極的に実施したいとのことで、まずは取掛かりとしての新たな取組となる。

竹野内議員：金沢シーサイドタウン地区における大学、産業、UR等と連携した団地再生モデル事業について詳しく聞きたい。

伊倉区政推進課長：確定したものではなく、現在練っているところであるが、URと産業団地の団体とで住まいに関する協定を結び、産業団地の皆様に並木に住んでもらうという職住近接の取組などを進めている。

発 言 の
要 旨

竹野内議員：改めて、不法投棄について、港湾局が管理している海沿いの緑地がひどいことになっていることがある。区内の環境のことであり、区や土木事務所からも管理について港湾局に強くはたらきかけてほしい。

國原区長：福浦の海側の岸壁沿いだと思うが、ごみの散乱はひどいものがあるので、港湾局長にも申し入れを行った。建設から30年以上経過しており、傷んでいる部分もあるので、何とかしてほしいと申し入れている。

高橋議員：横浜市の小児医療費の小学4～6年生の一部負担について、市民からの要望が多いが、区の方に意見、要望や苦情の声は上がっているか。

中林保険年金課長：窓口では、他都市と比べ横浜市の補助が少ないとの意見は頂くが、文書等で寄せられたことはない。

高橋議員：ごみ屋敷関係の条例化については、常任委員会で取り上げられるが、金沢区のごみ屋敷の件数について聞きたい。また、それぞれどういった対応をとっているのか。

飛田福祉保健課長：区内では現在4件あり、そのうち3件はすでに支援担当課とのかかわりがある案件であり、本人との関係性ができているので、日常生活や片づけについて、解決に向けた話し合いを続けている。それでも、なかなか思うように進まず、進捗が難しい状況ではある。その他1件については、平成21年度から区のほうに寄せられていた件で、最近ようやく本人と接することができるようになった。区をあげて、片づけや生活について、ようやく話ができる入口に達したところである。

高橋議員：条例整備により、強制代執行されたとしても、その人は住み続けるので、その後のフォローが必要になる。ごみ屋敷の対応は、片づければ済むというものでなく、区の役割は大きいと思う。

次に、防犯カメラについて、区内でどのくらい設置要望があがっているか。

飯田地域振興課長：7、8件の要望があった。正確なところは現在集計中だが、なるべく要望に応えられるようにしていきたい。

発言の
要旨

小幡議員：区庁舎の1階、広くてよいが、パーテーションで仕切るなどして、地域の方が使えるようにするとよいと思う。

都市計画マスタープランについては、区制70年を踏まえ、区民文化センターなど金沢区に足りないものや、使わなくなった公務員住宅の利用など、区民の方から意見をいただき、まとめるようにしていきたい。

ログ金沢跡地について、各局、各団体との調整が必要とは思いますが、早く進めてほしい。

谷田部議員：ログ金沢跡地については、だいぶ時間が経過しており、スピード感を持ち、区局で連携して対応してほしい。

伊倉区政推進課長：ログ金沢跡地の活用については、今後のスケジュールはまだ申し上げられないが、鋭意、関係局と調整を進めている。なるべく早く情報提供したいと思っている。

谷田部議員：不法投棄については、たいてい場所が決まっている。防犯灯、監視カメラを設置してほしい。各自治会のごみコンテナから持ち出したご

みの、並木のグリーンベルトへの不法投棄が多発し、かなり苦情が来ている。警告の立て看板もあるのだが、実行者を特定しても、現行犯でないと警察は対応できないと聞いている。

八谷土木事務所副所長：現行犯でないと、警察でも対応が難しい。周辺住民の監視などで不法投棄の現場を見つけて、警察に対応してもらうのが最も良い。

島土木事務所長：並木のグリーンベルト（金沢緑地）の管理は環境創造局になるが、一度集めたごみをまたばらまいてしまう方がいるということは土木事務所でも承知している。土木事務所と警察でお会いして何度も指導しているが改善されない状況であり、対応に苦勞している。

谷田部議員：放置自転車対策については、駅から近い場所に駐輪場を設置するなどの対策が必要と思う。

発言の
要旨

國原区長：啓発活動がベースにはなってくると思うが、金沢文庫駅周辺は、かつては1,000台以上の放置自転車があったが、駐輪場増設などの対策により、現在は100台未満まで改善されている。局から予算を貰いながら、駐輪場の整備を含め、引き続き啓発活動をしていきたい。

谷田部議員：旧川合玉堂別邸について、主屋焼失後だいぶ時間がたっている。区づくり推進事業ではなく、区局で連携を取って、早めに方向性を出してほしい。表門は教育委員会が整備し、園庭と主屋の整備は早めに対応してほしい。

國原区長：活用は区役所が行っているが、表門の改修については、教育委員会事務局が8月に契約し、改修工事を行うことになった。園庭整備は、全国都市緑化よこはまフェアの18区連携事業で実施し、今年度中には再整備を終える。主屋は、焼失により、再建しても文化財的価値が認められないため、諦めたわけではないが再整備は難しい。

谷田部議員：状況は承知しているが、地元のボランティアなどは、文化財でなくてもいいから整備してほしいと思っているので、よろしくお願ひし

発言の
要旨

たい。

並木行政サービスコーナーの閉所は残念だが、統合事務費、区民サービス事業で各々支出超過が出ているが、並木証明発行コーナー閉鎖との関連はあるのか。

柳下戸籍課長：並木行政サービスコーナーでの経費増は、アルバイト人件費とそれに伴う事務経費が主な原因である。一般管理費等の支出超過分は、郵送費、人件費である。

栗原総務課長：一般管理費等の支出超過分は、郵送費、消耗品費等によるものであり、庁内全体で増額となったものである。

谷田部議員：並木及び金沢文庫行政サービスコーナーの具体的な閉鎖日程について教えてほしい。

柳下戸籍課長：並木は、平成 29 年 3 月に閉所、金沢文庫は平成 30 年 3 月末に閉所、新杉田は平成 29 年 3 月をもって閉所の予定である。

谷田部議員：並木一丁目にはコンビニもあまりなく、高齢者は不便になるが、その対応はどう考えているか。

柳下戸籍課長：並木一丁目にローソンがあるだけだが、区役所に来る間の国道 16 号線沿いには 4～5 軒あるので、そちらを利用していただければと思う。

國原区長：並木だけでなく、富岡第 2 地区も証明発行コーナーを利用している。地元にも丁寧に説明し、コンビニ交付で利用できる時間も増え便利との意見もいただいている。また、マイナンバーカードがないとコンビニでの利用ができないので、その申込み相談等について、地元にちらしを配付し、閉所までの期間、並木証明発行コーナーで対応し、その PR を行っている。

黒川議員：スマートフォンで昔の風景が見られる AR アプリは、今どうなっているのか。角田武夫さんや思い出アーカイブ事業などの写真を、AR

の事業に取り込んで活用してほしい。

飯田地域振興課長：ARアプリ・かなざわ歴史めがねについては、27年12月に以前のプラットフォームが事業廃止されたため、他のプラットフォームに代わり、継続して提供している。現在も使用可能である。

黒川議員：金沢文庫、金沢八景で、道路局がバリアフリー事業を進めているが、掘り返した後に道路がでこぼこだったり、点字ブロックがしっかり固定されていないなかったり、障害者の人には不便な状況になっている。区から道路局や横浜国道事務所等に申し入れをしてほしい。

島土木事務所長：バリアフリー計画により整備をしているが、ご指摘の国道については、国の所管なので、国と調整していく。

【議題3】平成29年度 予算編成の考え方について

発言の
要旨

黒川議員：例えば、臨海部の地区計画、まちづくり協定を作るとか、空き家問題、泥亀の公務員住宅の問題など、具体的目標などを明示した踏み込んだ内容にしてほしい。

國原区長：できる限り具体化したものにしていきたいと思っている。産業地域の活性化プランについては、企業の方と若干認識が違うことも感じている。行政が地区計画を決めるものではなく、あくまで、地元の皆様の合意形成の上で、自分たちがやるという認識で考えていかないと一步前に踏み出せないということは申し上げた。また、八携協定、大学との連携については、多面的に仕掛けている段階と認識している。様々な取組を重ねていく中から柱を作っていこうという過程であり、もう少しお時間をいただきたい。

黒川議員：行政がすべてやるという話ではないが、企業側には利害関係があるので、行政が交通整理的な役割を果たすなど、もう少し行政が踏み込んで合意形成を図ってほしい。

京急やシーサイドラインに対しても、区が行政の役割としてもう少し踏

発言の 要旨	<p>み込んで両社を巻き込むような働きかけをしてほしい。</p> <p>國原区長：臨海部の関係は、経済局、金沢区役所が一体となって、産業地域と一緒に対応し、まとめていきたい。今までより踏み込んだ形で参画させてもらっている。</p> <p>京急は、今後、沿線開発等に力を入れていくと聞いている。空き家の件も市大、区役所、地域で同社を巻き込むような仕掛けをしている。京急の今後の方針に合わせ、区役所、市大も積極的に関与する姿勢でいきたい。シーサイドラインも、沿線人口が減少し経営的に厳しくなるという認識を持っており、賃貸の空き家を埋めることについてURと話をしていると聞いている。沿線に人を呼び込むような企画の実施、沿線への定住化促進等に積極的に取り組んでいく方針であり、区としても協力していく。</p> <p>小幡議員：区内には、大手デベロッパーや中小業者の開発した住宅地も多いので、そういった業者にも協力を呼び掛けていくべきだろう。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	